

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
株式会社武蔵野京都工場新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010
■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境					0.30			2.9
1 音環境				3.6	0.15			3.6
1.1 騒音				3.0	0.40			
1 室内騒音レベル				3.0	1.00			
2 設備騒音対策				-	-			
1.2 遮音				4.6	0.40			
1 開口部遮音性能		サッシの遮音性能:T-2		5.0	0.60			
2 界壁遮音性能		界壁遮音性能算定計算書、予測方法より D=48.9		4.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-			
1.3 吸音				3.0	0.20			
2 温熱環境				1.9	0.35			1.9
2.1 室温制御				2.8	0.50			
1 室温		夏期:26℃、冬期:24℃を実現するための設備容量		4.0	0.38			
2 負荷変動・追従制御性				-	-			
3 外皮性能				1.0	0.25			
4 ゾーン別制御性				3.0	0.38			
5 温度・湿度制御				-	-			
6 個別制御				-	-			
7 時間外空調に対する配慮				-	-			
8 監視システム				-	-			
2.2 湿度制御				1.0	0.20			
2.3 空調方式				1.0	0.30			
3 光・視環境				3.5	0.25			3.5
3.1 昼光利用				4.2	0.30			
1 昼光率		(事務室)昼光率=4.65 ≥2.5		5.0	0.60			
2 方位別開口				-	-			
3 昼光利用設備				3.0	0.40			
3.2 グレア対策				3.0	0.30			
1 照明器具のグレア				-	-			
2 昼光制御				3.0	1.00			
3 映り込み対策				-	-			
3.3 照度		750Lx ≤ (事務室)照度基準=750Lx < 1000Lx		4.0	0.15			
3.4 照明制御				3.0	0.25			
4 空気質環境				3.3	0.25			3.3
4.1 発生源対策				4.0	0.50			
1 化学汚染物質		全面的にF☆☆☆☆の材料を採用している		4.0	1.00			
2 アスベスト対策				-	-			
3 ダニ・カビ等				-	-			
4 レジオネラ対策				-	-			
4.2 換気				2.3	0.30			
1 換気量				3.0	0.33			
2 自然換気性能				3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33			
4 給気計画				-	-			
4.3 運用管理				3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視				-	-			
2 喫煙の制御				3.0	1.00			
Q2 サービス性能				-	0.30			3.0
1 機能性				2.5	0.40			2.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40			
1 広さ・収納性				1.0	0.50			
2 高度情報通信設備対応				2.0	0.50			
3 バリアフリー計画				-	-			
1.2 心理性・快適性				3.3	0.30			
1 広さ感・景観		事務室天井高2.85m。 <2.9m かつ、窓がある		4.0	0.33			
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33			
3 内装計画				3.0	0.33			
1.3 維持管理				3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50			
3 衛生管理業務				-	-			
2 耐用性・信頼性				3.2	0.31			3.2
2.1 耐震・免震				3.0	0.48			
1 耐震性				3.0	0.80			
2 免震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.33			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.23			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外露出ダクト、厨房排気ダクトなどにステンレスダクトを採用		5.0	0.08			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		使用量上位3種のうち、2種以上にB以上を使用し、Eは不使用		5.0	0.15			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23			

2.4 信頼性			3.6	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水器具+井水利用	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電機+浸水の危険なし	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	通信手段の多様化+浸水の危険なし	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.6	0.29	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	平均階高=(4.825+6.56+4.92)÷3=5.435m ≥3.9mより	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.09 <0.1	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		高効率照明器具の採用	4.2	0.43	-	-	4.2
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR=20.6%	4.2		-	-	
集合住宅の評価			3.0		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.29	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマ+省水型機器	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63	-	-	2.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	解体時に分別しやすいボード下地構成 躯体+軽鉄+仕上材	4.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材を使用していない	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=94%	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			3.3	0.33	-	-	3.3
2.1	大気汚染防止	煤じん濃度が大幅に抑えられている	4.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制	適正量の駐車・駐輪場、荷捌きスペース	5.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	